5/22
(火)

新病院立地で三者合意書

桑名市長「建設へ大きな第一歩」

【桑名】地方独立行政法人桑名市総合医療センターの新病院が、桑名市寿町三丁目のスーパー「一号館桑名店」跡地に立地されるのに絡み、桑名市と医療センター、一号館の三者は二十一日、合意書を交わした。

水谷元市長は「新病院建設に向けた大きな第一歩だ」と強調。一号館の佐藤純社長は「桑名店は四十年の歴史があって閉店は残念だが、市発展のためやむを得ない」と述べた。両氏に医療センターの足立幸彦理事長を加えた三氏が桑名市役所での調印式で署名した。

新病院整備で土地取得の合意書に署名する関係者＝桑名市役所で

取得する土地は店舗と駐車場の計五千平方㍍余。隣接する桑名東医療センター（旧山本総合病院）の既存施設も一部活用する。土地取得額は明らかにされていないが、市が医療センターに資金を貸し付ける。市は取得費用を盛り込んだ補正予算を市議会六月定例会に提出する方針。

中日

桑名市総合医療センター

新病院建設へ用地取得

「一号館」と合意書調印

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの新病院建設に向け、桑名市と総合医療センターは、同市寿町のスーパーの土地を取得することを決めた。二十一日、スーパーを運営する「一号館」（四日市市）との三者で合意書に調印した。二〇一五年四月の開院を目指す。（生田貴士）

市総合医療センターが統合して発足。現在は旧市民病院分院を含め三施設で、診療を続けている。

取得するのは、スーパー「一号館桑名店」の店舗と駐車場の土地計五千六十五平方㍍。昨年二月から交渉を続けていた。店舗部分四千九十平方㍍は、桑名東医療センター（旧山本総合病院）の敷地九千七百九十平方㍍と隣接しており、同センターの一部施設も活用して新病院を整備する。

病院整備用地に関する合意書調印

合意書に調印した（左から）足立理事長、佐藤社長、水谷市長＝桑名市役所で

取得費用は、市が総合医療センターに貸し付ける形。市は六月定例市議会に取得費用を盛り込んだ補正予算を提案する。

市役所での調印式には、水谷元市長と一号館の佐藤純社長、総合医療センターの足立彦理事長が出席。合意書に署名、押印した。

水谷市長は「新病院建設に向けた大きな第一歩。実現に向けて努力していきたい」といさつ。式の後、佐藤社長は「桑名店は創業四十年ほど。思い入れもあるが、桑名市の地域医療の発展に貢献できればと決めた」と話した。